

(令和6年1月分)

種 類	市況の概況
(水産物部の動向) 水 産 物 全 般	1月の総入荷量は前年同月比で4%下回り、総取扱金額はちりめん等、塩干物の需要の伸びがみられなかったことにより、前年同月比で5%下回った。 2月は西日本を中心として、節分の日にいわしを食べる習慣がある。いわしを焼く時に出る煙と臭いで体内の邪気を払う効果があると言われ、無病息災を願って食べられているとされる。栄養価が高い魚であるため、ぜひ、寒さが続くこの時期にいわしを食べ、健康に過ごしていただきたい。
鮮 魚	鮮魚の入荷量は前年同月比で4%下回り、単価は前年同月並みとなった。 品目別には、まいわし、よこわの入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。さわら、くるまえびの入荷量は前年同月を上回り、単価は下回った。
冷 凍 魚	冷凍魚の入荷量は前年同月比で4%上回り、単価は10%下回った。 品目別には、冷ぶり、冷さわらの入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。冷まぐろ、冷かつおの入荷量は前年同月を上回り、単価は下回った。
加 工 水 産 物	加工水産物の入荷量は前年同月比で6%下回り、単価はちりめん等の需要の伸びがみられなかったことにより、5%下回った。 品目別には、丸干いわし、すけそうこの入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。塩銀さけの入荷量は前年同月を上回り、単価は下回った。

※ 鮮魚には、貝類、淡水魚を含む。

主要品目	市況の概要
(鮮 魚) ま あ じ さ ば ぶ り よ こ わ ひ ら め か き 太 物	長崎、京都で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で１３％下回り、単価は１０％上回った。 長崎で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月並みとなり、単価は２２％下回った。 鹿児島、愛媛で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で２０％上回り、単価は２３％下回った。 長崎で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で２７％下回り、単価は２８％上回った。 韓国、北海道で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で９％下回り、単価は９％上回った。 広島、岡山で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で１７％下回り、単価は１６％上回った。 総入荷量は前年同月比で５％上回り、単価は良品物の増加により、３％上回った。

※ 太物：まぐろ、きはだ、めばち

主要品目	市況の概要
(冷凍魚)	
冷 さ け	入荷量は前年同月比で４％下回り、単価は需要の伸びがみられなかったことから１２％下回った。
冷 さ ば	入荷量は前年同月比で２５％下回り、単価は小型物中心の入荷により、前年同月並みとなった。
(加工水産物)	
塩 さ ば	入荷量は前年同月比で１２％下回り、単価は１０％上回った。
す け そ う こ	入荷量は前年同月比で１５％下回り、単価は５％上回った。